

日野町70年のあゆみ

年月日

できごと

年月日

できごと

昭和30年3月16日

新町誕生

日野小学校講堂で日野町開町式が行われました。

昭和30年4月23日

初代町長に若村源左衛門氏が就任

昭和30年4月30日

第1回町議会議員選挙

昭和30年12月7日

日野町社会福祉協議会設立

昭和33年3月27日

日野町町民憲章制定決議（3月28日告示）

昭和36年4月26日

上水道工事完成（日野地区・西大路・仁本木・清田・別所・里口・猫田・十禅師）

昭和37年3月31日

各地区連絡所を廃止、公民館と改称される

昭和37年11月1日

日野文化会館（隣保館）が開館

昭和37年3月15日に着工し、同和对策事業の一環として開館しました。

昭和38年3月10日

日野公民館竣工

昭和40年3月8日

第2代町長に橋田喜一郎氏が就任

昭和41年4月28日

日野川ダム竣工（西大路）

洪水調整ダムとして昭和28年に着工。かんがい用水の不足から再検討され、多目的ダムとして完成しました。

昭和43年7月22日

綿向山・石楠花溪などが鈴鹿国定公園に指定



昭和44年1月21日

中学校統合案が議会で可決

昭和45年4月1日

彦根と枚方を結ぶ県道が国道307号に昇格

昭和46年6月2日

日野中学校竣工

東中学校（村井）・北中学校（北脇）・西中学校（内池）を統合し、昭和46年に完成しました。

昭和47年1月14日

日野町総合発展計画を議会で議決

昭和47年5月14日

日野中学校体育館でNHKのど自慢公開録画

昭和48年3月8日

第3代町長に森田忠蔵氏が就任

昭和49年1月20日

町の木「ひの木」、町の花「ほんしやくなげ」制定

昭和51年3月1日

勤労福祉会館竣工

昭和52年4月20日

必佐小学校竣工

昭和53年11月3日

三重県松阪市と文化交流都市提携締結

蒲生氏郷公が日野から松坂（現・松阪）へ居城を移して商人を誘致し、町割りを行い、松阪の町の基礎をつくられたことを縁に交流提携を結びました。

昭和54年3月24日

林業センター・商工会館竣工

昭和54年10月10日

大谷公園野球場竣工

昭和55年10月5日

国道307号日野水口グリーンバイパス（有料道路）が開通



日野町70年のあゆみ

昭和55年12月～平成5年1月

年月日

できごと

年月日

できごと

昭和55年12月19日 日野町役場新庁舎竣工（12月22日執務開始）

昭和56年10月3日 近江日野商人館が開館

昭和56年10月14日 第36回国体相撲競技開始（～17日）

各地区で選手団の民泊にご協力いただき、町をあげての大会になりました。

昭和57年9月1日 桜谷小学校統合校舎
学習・管理棟竣工、開校

昭和59年5月2日 ブラジル国エンブ市と姉妹都市
提携調印

昭和55年8月10日に開催された国体リハーサル大会、全国教職員相撲選手権大会にブラジル国の選手が視察に来町され、友好を深めました。

昭和59年12月25日 「非核日野町宣言」を議会で議決

昭和60年3月29日 日野曳山祭が県無形民俗文化財に指定

昭和60年4月7日 日野中央病院（現日野記念病院）竣工

昭和61年4月14日 日野町保健センター開設

昭和61年10月6日 蔵王トンネル開通

昭和62年7月23日 日野小学校竣工

昭和63年3月30日 西桜谷公民館竣工

昭和63年4月30日 蒲生氏郷公銅像が
ひばり野公園に完成



平成元年8月30日 南比都佐小学校竣工

平成2年3月24日 西大路小学校竣工

平成2年5月16日 韓国扶餘郡恩山面と姉妹都市提携調印

小野にある鬼室神社には、約1350年前、百濟（現在の韓国）から移住した鬼室集斯がまつられています。恩山面の恩山別神堂には鬼室福信がまつられ、この歴史的事実が交流のきっかけとなりました。

平成2年8月25日 第24回「歩いて歩いて関東へ」日本橋へゴールイン

昭和54年5月にスタートし、日野から日本橋までの51.2kmを12年かけて年2回歩き続けました。

平成2年9月1日 町営路線バス運行開始

平成2年10月6日 必佐公民館・農業構造改善センター竣工

平成3年2月21日 近江中山の芋競べ祭りが
国の重要無形民俗文化財に指定

平成4年2月27日 「同和对策の終結をめざした
ふれあい町民集会」を開催

平成4年4月5日 東桜谷公民館竣工

平成5年1月10日 町民会館「わたむきホール虹」
開館

